

決算報告書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

(単位：百万円)

区 分	先端共通技術				ナノスケール材料				環境・エネルギー・資源材料				中核機能活動				法人共通				合計			
	予算額	決算額	差 額	備 考	予算額	決算額	差 額	備 考	予算額	決算額	差 額	備 考	予算額	決算額	差 額	備 考	予算額	決算額	差 額	備 考	予算額	決算額	差 額	備 考
I 収 入																								
運 営 費 交 付 金	2,364	1,994	370	※1	1,409	1,140	269	※2	4,687	3,383	1,304	※3	2,204	2,485	△281	※4	1,254	2,915	△1,662	※5	11,918	11,918	0	
補 助 金 等	98	55	43	※1	1,350	1,286	64		-	-	-		-	-	-		-	-	-		1,448	1,341	107	
施 設 整 備 費 補 助 金	-	-	-		-	-	-		-	-	-		-	-	-		-	1,520	△1,520	※5	-	1,520	△1,520	
雑 収 入 等	12	8	4	※1	10	28	△18	※2	13	40	△27	※3	13	78	△65	※4	343	821	△478	※5	391	975	△584	
受 託 事 業 収 入 等	171	404	△233	※1	344	298	46	※2	1,173	2,658	△1,485	※3	716	1,355	△639	※4	624	726	△102	※5	3,028	5,441	△2,414	
収 入 合 計	2,645	2,461	184		3,113	2,752	361		5,873	6,082	△209		2,933	3,918	△985		2,221	5,982	△3,761		16,784	21,195	△4,410	
II 支 出																								
運 営 費 交 付 金 事 業	2,376	2,179	197		1,419	1,278	141		4,700	3,723	977		2,217	2,785	△568		1,597	3,689	△2,092		12,309	13,653	△1,344	
一 般 管 理 費	-	-	-		-	-	-		-	-	-		-	-	-		1,161	1,894	△733		1,161	1,894	△733	
人 件 費	-	-	-		-	-	-		-	-	-		-	-	-		492	716	△224	※5	492	716	△224	
物 件 費	-	-	-		-	-	-		-	-	-		-	-	-		669	1,177	△509	※5	669	1,177	△509	
業 務 経 費	2,376	2,179	197		1,419	1,278	141		4,700	3,723	977		2,217	2,785	△568		436	1,795	△1,359		11,148	11,759	△611	
人 件 費	1,361	1,394	△33		841	738	103	※2	2,118	2,252	△134		744	894	△150	※4	-	226	△226	※5	5,064	5,504	△439	
物 件 費	1,014	785	229	※1	578	540	37		2,582	1,471	1,111	※3	1,474	1,891	△418	※4	436	1,569	△1,132	※5	6,084	6,256	△172	
補 助 金 事 業	98	55	43	※1	1,350	1,286	64		-	-	-		-	-	-		-	-	-		1,448	1,341	107	
施 設 整 備 費	-	-	-		-	-	-		-	-	-		-	-	-		-	1,520	△1,520	※5	-	1,520	△1,520	
受 託 業 務 等	171	404	△233	※1	344	298	46	※2	1,173	2,658	△1,485	※3	716	1,355	△639	※4	624	726	△102	※5	3,028	5,441	△2,414	
支 出 合 計	2,645	2,638	7		3,113	2,862	251		5,873	6,381	△508		2,933	4,140	△1,207		2,221	5,935	△3,714		16,784	21,955	△5,171	

(注)

① 当法人は通則法第35条の4に定める中長期目標に沿った事業セグメントを採用しております。

第3期中期目標期間における事業セグメントは次のとおりです。

- 【先端共通技術】 物質・材料研究において共通的に必要となる先端技術の研究開発
- 【ナノスケール材料】 ナノサイズ特有の物質特性等を利用した新物質・新材料の創製
- 【環境・エネルギー・資源材料】 社会的ニーズに応える材料の高度化のための研究開発
- 【中核機能活動】 先端研究基盤の整備・運営、グローバルに活躍できる人材育成等の活動

② 事業セグメントごとの「予算」と「決算」との差額が生じた主な理由は次のとおりであります。

- ※1 先端共通技術事業におきましては、補助金及び寄付金等の収入が当初計画を下回ったものの、戦略的創造研究推進事業等の受託事業収入等の増加(計画比135.8%増)が見込まれたため、運営費交付金配分額の見直しを行っております。そのため、財源の構成及びそれに伴う支出区分に乖離が生じております。事業としては、計画どおりの予算額を執行し、完了しております。
- ※2 ナノスケール材料事業におきましては、補助金及び受託事業等の収入が当初計画を下回ったものの、寄付金収入等の増加(計画比186.2%増)が見込まれたため、運営費交付金配分額の見直しを行っております。そのため、財源の構成及びそれに伴う支出区分に乖離が生じております。事業としては、計画どおりの予算額を執行し、完了しております。
- ※3 環境・エネルギー・資源材料事業におきましては、未来開拓研究プロジェクト等の受託事業収入等の増加(計画比126.7%増)及び寄付金収入等の増加(計画比205.5%増)が見込まれたため、運営費交付金配分額の見直しを行っております。そのため、財源の構成及びそれに伴う支出区分に乖離が生じております。事業としては、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)等の受託事業における研究設備整備等に伴い、支出予算額に比し8.6%の支出増となっております。
- ※4 中核機能活動事業におきましては、イノベーションハブ構築支援事業等の受託事業収入等の増加(計画比89.2%増)及び共用設備利用料収入等の増加(計画比492.8%増)が見込まれたため、運営費交付金配分額の見直しを行っております。また、前期から繰り越した運営費交付金を当事業の大型研究設備の整備等に充てるために配分しております。そのため、財源の構成及びそれに伴う支出区分に乖離が生じております。事業としては、前期より繰り越した運営費交付金による大型研究設備の整備及びイノベーションハブ構築支援事業におけるシステム開発等に伴い、支出予算額に比し41.1%の支出増となっております。
- ※5 法人共通は、主に企画部門業務及び一般管理部門業務に係る決算額であります。当項目においては、特許権収入の増加(計画比58.9%増)に伴う維持手続き費用等の増加及び前期から繰り越した運営費交付金を研究環境促進のための施設・インフラ整備等に充てるために配分しております。そのため、財源の構成及びそれに伴う支出区分に乖離が生じております。なお、人件費の乖離の主な理由は、人事院勧告による支給額の増加及び役員退職金の増加であります。また、当項目には、施設整備費補助金で実施する施設整備事業を含めておりますが、平成25年度施設整備予算を事業計画の変更により当事業年度に繰り越したため大幅な乖離が生じております。